

ACE事業部

可能性の広がるTHKの免震・制震技術

ACE(Amenity Creation Engineering)事業部は、2001年の発足以来、「快適さを求め、独創的な生活空間を、技術開発していこう」をコンセプトに、THK独自の「ころがり」化技術を活かし、地震の脅威から人々の生命や財産を守る免震・制震装置を開発・販売するとともに、ホームオートメーション関連機器への採用の増加にも取り組んでいます。

THKの免震・制震装置の特長は、LMガイド、ボールねじ等のTHKの基本技術を応用することで、高層ビルから戸建住宅、社寺建築等の歴史的な構造物まで、様々な建築物に十分な効果を発揮できる幅広い製品ラインナップを揃えていることです。

また近年、企業のBCP(Business Continuity Plan: 事業継続計画)に対する意識が高まる中、THKは独自の免震・制震技術のノウハウを応用し、PCやサーバーなどの事業資産を地震の被害から守る免震テーブルを販売しています。この免震テーブルは既存の製品に比べ、地震が発生した際に、ねじれや浮き上がりの無い安定した動きをする高性能な製品となっています。

2010年度については、引き続きTHK製品の優位性を強調した積極的な販売活動を実施し、ACE事業部の売上高の6割強を占めるビル免震を中心として採用棟数を着実に増加させることができました。



戸建免震採用例



ニーズの拡大と普及・販売活動の強化

世の中の災害対策への意識が高まる中、免震・制震装置の需要は長期的に増加していくものと考えられます。ACE事業部では、引き続き設計事務所やハウスメーカーなどにTHKの免震・制震技術の優位性をPRしていきます。なお、ビル制震では、従来の制震ダンパーに比べ、地震の揺れを小さくする減衰性能をさらに向上させた新制震ダンパーの拡販に努めています。

また、一般消費者の方々に対しても、免震・制震装置導入の重要性やTHKの優れた技術・製品をご理解いただくため、従来のセミナー開催等の普及活動に加え、免震体験車をさらに有効活用した販促活動を実施していきます。戸建の免震装置については海外からも引き合いが増加しており、免震に関するホームページを英語でも公開しています。

加えて、企業のBCPに関するニーズが一段と高まる環境のもと、サーバー免震や機器免震などの“部分免震”の拡販にも注力していきます。部分免震を実現する当社の免震テーブルは、3月11日に発生した東日本大震災において、企業の中核ともいえるサーバーを地震から守りお客様から高い評価を頂きました。2011年度はさらに減衰機能を強化し床免震や大型機器の免震にも対応できる免震モジュール「TGS型」をラインナップに加え、積極的に拡販していきます。



免震テーブル採用例
(サーバー免震)

FAI事業部

輸送用機器分野における収益拡大に向けて

FAI(Future Automotive Industry)事業部は、THK 製品の自動車部品としての採用拡大を目的に1999年に発足しました。同事業の主力製品であるアルミダイカスト一体型成形のリンクボールは、従来のスチール製に比べ軽量ながら高い耐食性、耐摩耗性を実現しています。燃費の向上が求められる中で、国内外の大手自動車メーカーから高い評価を受けています。

また、2007年には、優れた鍛造技術を持つ自動車部品メーカーである株式会社リズムを連結子会社化しました。以来、FAI事業部ではリズムを加え、一体となり事業を展開し、2010年6月には連携をより一層強化すべく、リズムの商号を「THKリズム株式会社」に変更しました。さらなるシナジーを追求し、世界の自動車市場の変化に対して迅速かつ確に対応することで、存在感のあるサプライヤーとなることを目指しています。

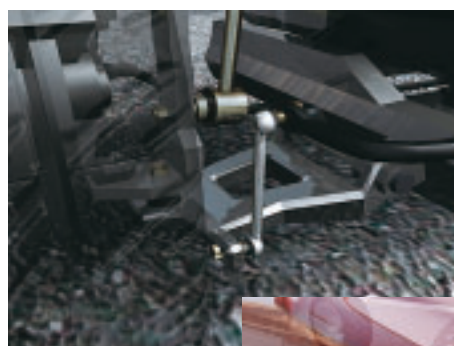
THKリズムとのシナジーの追求

FAI事業部を取り巻く環境としては、中長期的には自動車の生産地域の拡大と新興市場での需要の増大が見込まれます。また、世界的な環境保全ニーズの高まりとともに、自動車の軽量化、省エネルギー化がますます進んでいくことが考えられ、ハイブリッド自動車や電気自動車が普及していくことが予想されます。こうした中で、採用数の一層の増加に向け、THKリズムとのシナジーをさらに高めるべく取り組んでいます。

これまでの具体的な成果として、【管理面】では、管理機能をTHKリズム本社に集約したことで、従来より多くの受注を少ない人員で対応することが可能となり、採用拡大のスピードを高める体制を構築することができました。【販売面】では、国内外の完成車メーカーとの取引があるTHKの販路を活かしたTHKリズム製品の提案を実施するとともに、海外における支店の統合やスタッフの連携強化等も図っています。【生産面】では、THKリズムの本

社工場(浜松)と中国工場(THKリズム広州)でTHK製品であるリンクボールの生産を開始しています。LMガイドのトップメーカーであるTHKの持つ高い生産技術力に加え、自動車部品メーカーのTHKリズムならではの生産管理手法などによって、よりコスト競争力のある生産が可能になりました。【技術面】では、双方の技術交流を促進すべく分科会を設置しました。ここでは、THKリズムが持つ鍛造技術をTHKのコア製品であるLMガイドの生産へ応用させるなど、今後、民生品分野での採用拡大に向けて、LMガイドのコスト競争力を高める活動を実施しています。

このように管理、販売、生産、技術、それぞれにおいてTHKリズムとのシナジーは顕在化しています。その結果として、2010年度は、グローバル規模での採用車種の着実な増加を果すことができました。2011年は需要が拡大するアジア地域での生産体制を強化すべく新たな生産拠点となるTHKリズム常州を設立し、工場の建設に着手します。またタイにあるTHK RHYTHM (THAILAND) CO., LTD.では第二工場を稼働させます。今後も採用数の増加に向けてシナジーの顕在化に向けた取り組みをより加速させるとともに、LMガイド、アクチュエータといった当社が持つコア製品の採用の増加を図ることで、輸送用機器分野における収益性を向上させていきます。



リンクボール採用例



IMT事業部

電動アクチュエータ、ユニット製品の採用拡大に向けて

IMT (Innovation Mechatronics Technology) 事業部は、2009年6月に、今後大きな市場の拡大が見込まれる電動アクチュエータ事業と、THKグループのユニット品事業の拡大を目的として創設されました。

近年、生産性向上への要求が高まる中、半導体製造装置や薄型パネル製造装置などの産業用機械において、高性能化・多機能化が進んでいます。そうした中でより合理的な機械設計が求められており、機械要素部品においても単品から複合品へと製品ニーズが移り変わっています。また、今後は産業用機械のみならず、生産ラインなどにおける電動化の一段の進展も見込まれています。

こうした事業環境の中、IMT事業部は、THKの持つ「独創的な発想と独自の技術」を活かして市場開拓に取り組んでいきます。まずは産業用機械への電動アクチュエータ及びユニット製品の採用拡大を図っていきます。また、フィットネス機器や介護機器などの生活環境機器分野においても多様な需要が存在しており、これらを顕在化して収益拡大に繋げられるよう、各種用途に合わせた電動アクチュエータを積極的に開発しながら市場開拓を図っていきます。

電動アクチュエータシリーズ



市場ニーズに応じた事業体制の構築

IMT事業部は創設以降、幅広い顧客ニーズに対して的確かつ迅速にお応えできる販売システムを構築するとともに、徹底した人材教育に取り組んでいます。具体的には、従来の各電動アクチュエータの単独カタログを一冊の総合カタログとして刷新するとともに、動画などを盛り込んだWebサイトを新設し、製品案内ツールとしての利便性向上を図りました。また、お客様からのお問い合わせや技術相談などに的確に対応するため、電動アクチュエータ専用のカスタマーサポートを設置しました。人材教育では、高度な技術ナレッジの修得をはじめ各種スキルアップ・トレーニングを実施しました。

そして創設2年目となる2010年度は、顧客ニーズを再確認しながら市場動向を分析し、その結果を商品企画に反映させるとともに開発・販売体制の充実を図りました。また各種展示会において新製品の発表なども実施しています。

今後は、拡販に向けて製品ラインナップの拡充を図るとともに、日本国内の事業体制の強化を進めていきます。さらには米州、欧州、アジアへのグローバル展開を図る中で、特に市場拡大が見込まれるアジアにおいて現地での生産販売体制の基盤づくりに積極的に取り組んでいきます。